

製 品 安 全 データ シート

1. 製品及び会社情報

製品名:クサブランカーMS粒剤

会社名: 保土谷アグロテック株式会社
住所: 〒103-0027東京都中央区日本橋三丁目14番5号祥ビル

担当部門: 研究開発部
電話番号: 03-3548-9676 FAX:03-3548-9678

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分1
	発ガン性（結晶質シリカ）	区分1
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1
	（反復暴露－臓器（血液））	区分2
	水生環境有害性	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性（慢性）	区分1(製剤は区分2)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

絵表示



危険



警告



警告

注意喚起語
危険有害性情報

危険 警告
発ガンのおそれ
臓器（呼吸器系）の障害
長期または反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害
眼刺激
軽度の皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
使用前に取扱説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
取り扱い後良く手を洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。

保管
廃棄

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 皮膚についた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 眼の刺激が続いたり、皮膚刺激または発疹が生じたりする場合は医師の診断/手当てを受けること。特別な措置が必要である。汚染した衣類を再使用する場合は洗濯すること。
 漏出物を回収すること。
 施錠して保管すること。
 内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

 単一製品・混合物の区別
 農薬の種類名
 有効成分の化学名と分子式

混合物
 DCMU・DPA・MCPP粒剤
 DCMU: 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素
 $C_9H_{10}Cl_2N_2O$
 DPA: 2, 2-ジクロロプロピオン酸ナトリウム; $C_3H_3O_2NaCl_2$
 MCPP: α -(2-メチル-4-クロロフェノキシ)プロピオン酸カリウム
 $C_{10}H_{11}ClO_3$

化審法整理番号

DCMU: (3)-2194; 第2種監視化学物質
 DPA: (2)-2654
 シリカ: (1)-548

成分及び含有量

成分	含有量	PRTR法	安衛法	毒劇法	CAS番号
DCMU	4%	指定化学物質	名称通知	非該当	330-54-1
DPA	10%	非該当	2-(4)-179	非該当	127-20-8
MCPP	4%	非該当	4-(4)-211	非該当	93-65-2
鉍物質微粉等 (クレー: 内 結晶質シリカ 55%)	49%		名称通知	非該当	7631-86-9
鉍物質微粉等	32%				
界面活性剤	1%				

DCMU: PRTR法「第1種指定化学物質 政令番号169」

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。

目に入った場合

この製品が眼に入った場合、水で数分間注意深く洗い
 入った製品を洗い流すこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
 外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く
 場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。気分が悪いときは医師に
 連絡する。

皮膚に付着した場合

皮膚についた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚刺激または発疹が生じたりする場合は
 医師の診断/手当てを受けること。特別な措置が必要である。
 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

応急措置をする者の保護

救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグル、
 マスクなどの保護具を着用する。汚染された衣類や
 保護具を取り除く。

5. 火災時の措置**消火剤****火災時の特有の危険有害性****特有の消火方法****消火を行う者の保護**

初期火災には水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
当該製品は分子中に[N、Na、ハロゲン]を含有しているのため
火災時に、刺激性もしくは有毒なガスを放出するので
消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺に関係者以外
の立ち入りを禁止する。
消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しない
よう適切な措置を行う。
消火の際は必ず保護具を着用し、燃焼または高温により
有毒なガス(一酸化炭素、窒素の酸化物、ハロゲン化合物等
のガス等)が生成するので、呼吸保護具を着用する。
消火活動は風上から行い有毒ガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項****環境に対する注意事項****除去方法**

室内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護マスク
保護衣等を着用すること。

環境への放出をさけること。

漏出したものをすくいとり、または掃き集めてドラム缶等に
回収する。漏出物は回収する。
廃棄は内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた
専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

7. 取り扱い及び保管上の注意**取り扱い****保管**

換気の良い場所で取り扱う。適切な保護具(保護衣、保護手袋
保護メガネ、保護マスク等)を着用し、粉塵を吸い込んだり
目、皮膚に触れないようにする。作業後は、手、顔などを
良く洗い、うがいをする。汚染された作業着は作業場から
出さない。容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は
引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。
容器を密閉し換気の良い冷暗所に保管する。
施錠して保管すること。
可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

8. 暴露防止及び保護措置**設備対策****保護具**

局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、目の
洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

ゴム手袋、保護衣、保護メガネを着用する。状況に応じて、
防塵マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質**外観:****比重:****pH****引火点**

類白色細粒

0.82

7

データ無し

10. 安定性及び反応性**安定性****危険有害反応性****避けるべき条件****混触禁止物質****危険有害な分解性生物**

通常の貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

情報無し

情報無し

情報無し

燃焼により一酸化炭素、窒素酸化物、ハロゲン化合物系などの
ガス等が発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性経口毒性	マウス雄雌	5000mg/Kg以上
	ラット雄雌	5000mg/Kg以上
急性経皮毒性	ラット雄雌	2000mg/Kg以上
眼刺激性試験	ウサギ	軽度の刺激性あり。
皮膚刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり。
皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性あり
発ガン性		発がんのおそれ
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	臓器(呼吸器系)の障害	
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害	

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性(急性): 区分2(緑藻類)	
	コイ	Lc50(96hr) 420mg/L
	オオミジンコ	Ec50(48hr) 100mg/L
	単細胞 緑藻類	ErC50 (0h-72h) 0.12mg/L
	長期的影響により水生生物に毒性	

13. 廃棄上の注意

空容器を廃棄する場合は、内容物を使いきった後に適切に処理する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実に行う。転倒、落下、破損がないよう積み込む。

15. 適用法令

*農薬取締法	農薬登録番号20323
*化審法	DCMU; 第2種監視化学物質 整理番号; (3)-2194、 DPA; 整理番号 (2)-2654 シリカ: (1)-548
*労働安全衛生法	DCMU; 第57条の2第1項名称通知対象物質; 4-(13)-42 DPA; 整理番号; 2-(4)-179 MCPP; 整理番号; 4-(4)-211 シリカ; 安衛法57条の2第1項 通知対象物質政令番号312
*特定化学物質の環境への排出の把握等及び管理の改善促進に関する法律 (PRTTR法)	DCMU; 第2条第1種指定化学物質(指定物質169)
*危険物船舶運送及び貯蔵規則	MCPP; 危規則第2条危険物等級6. 1毒物
*航空法 施行規則第194条	MCPP; 施行規則第194条危険物毒物
*バーゼル法	DCMU; 第2条特定有害廃棄物

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成した一般的取り扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。ヒトに対する危険、有害性の評価はかならずしも充分ではありませんので取り扱いには充分注意を払ってください。